駅南開発 21世紀の生活文化都市を建設

～市民参加で進める新しいまちづくり～

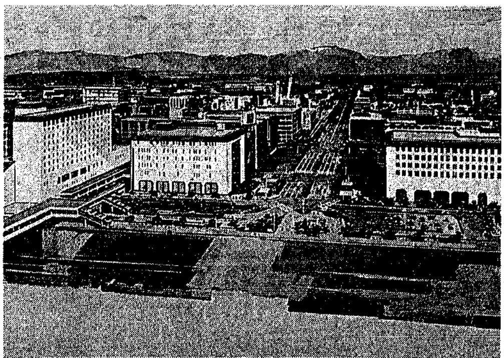
「二十一世紀の生活文化都市づくり」をキャッチフレーズに、昭和五十年八月にスタートした新潟市の駅南開発計画は、関係住民の理解と参加のもとで、都市施設の整備や周辺街区の再開発事業など、新しい副都心を目指したまちづくりが着々と進められています。

すでに、東側連絡通路は完成し、五十八年には、市施行で行う第一地区のビル三棟がオープンの予定です。

新しい新潟の顔へ

駅南開発は、新潟駅南口地区で進めている約十五・四㌶の新しいまちづくりで、このうち九㌶を五つの街区に分け都市開発法に基づく市街地再開発事業で行い、残る六㌶は開発計画に沿って民間の自主開発で進められます。

それぞれの街区のまちづくりは、新幹線開業から十年後を目途に、集中的な開発スケジュールを組み、統一性のある、バラエティに富んだまちをつくりあげようというものです。そのため、各街区に商業、業務、公共・公益施設などバランスのとれた各種施設を配していく予定です。



新潟駅南口の完成予想図。左よりA_1棟・A_2棟・C_1棟です

第一地区は市が直接施行

市が事業主体となる第一地区（A・C_1街区）は、施行面積が約二・四㌶。公共施設と三棟の再開発ビルを建設するもので、南口地区全体の中でも早期に事業化を図るべき重要な地区であり、他の街区に先がけて事業が進められます。

公共施設としては、一万四千平方㍍の南口広場、六十㍍の修景道路（幅員十㍍の地下横断歩道を含む）、幅員九から十二㍍の区画道路を配置し緑とゆとりのある公共空間をつくりあげます。また、七階から十二階建ての再開発ビル三棟（合計延べ床面積六万五千七百平方㍍）を建設し、ホテル、専門店（百三十店）、飲食店（三十店）、事務所などを誘致する計画です。特に、各棟の店舗が一体となった新しいショッピングモールが形成できるよう地下通路、デッキにより有機的に連絡されています。

第一地区の総事業費は百八十七億円です。

権利変換

この事業は、権利変換という新しい手法により行うもので、土地、建物等を直接買収するものではなく、地区内の土地、建物の権利を適正に評価し、その権利を適切に保全するため、それに見合った再開発ビルの床の権利に置き換えるというもので、いわば立体的に権利を移しかえるものです。

第二地区は組合施行で

第一地区のまちづくりに引き続き、第二地区などその他の街区においても順次事業化を図ることとして、関係住民と話し合いが行われています。

そのうち、第一地区に隣接する第二地区（約一・一㌶）では、組合施行で再開発事業が行われ六十年にはビルがオープンする予定です。昨年三月、地権者からなる再開発準備組合が結成され、早期事業化にむけ各部会活動や理事会等で研究・検討を重ねています。そして、商業施設や市民ホールなど、計画内容をかため事業の促進を図っており早期都市計画決定を目指すなど活発な活動が展開されています。

その他、第三～五地区においても、一層事業の推進を図るため、〝まちづくり集会〟を開催し、各種調査、研究が行われています。

～事業の経過～

昭和50年	8月	駅南開発基本構想の説明
昭和53年	10月	都市計画案の縦覧
	12月	新潟県都市計画地方審議会の決定
	12月	都市計画決定
昭和55年	3月	新潟都市計画事業、新潟駅南口第一地区第一種市街地再開発事業施行条例の制定
	5月	事業計画案の縦覧
	8月	事業計画決定
昭和56年	3月	権利変換計画案の縦覧
	4月	市街地再開発審査会の議決
	5月	権利変換計画認可申請

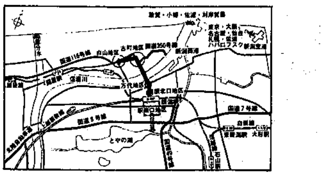
生まれ変る駅南地区 大きな伸び期待

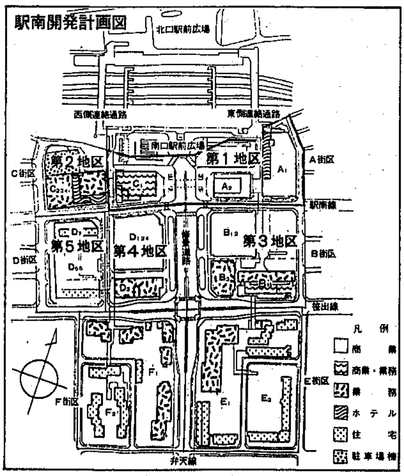
新潟市は、人口四十五万人の、日本海側最大の県都として、今後ますます発展が見込まれています。

上越新幹線の開業と関越・北陸自動車道の開通を契機として一層の高速交通化時代を迎えることになり、これらの都市環境の変化に対応し、中核都市にふさわしい都市機能の編成を行っていく必要があります。

新潟駅南地区は、これからの新潟市の発展を支える大きな役割を担う地区として、また、駅北口で止まっている都市軸の北側軸の結節点となり、鳥屋野潟方向へ伸びるであろう南側軸の起点ともなります。

その整備・開発にあたっては、副都心にふさわしい商業、業務機能と優れた文化、情報、サービスなどの機能を備え、誰もが楽しく、気軽に親しみ憩うことのできる〝まちづくり〟を実現していくものです。





公共施設を紹介 ～人間優先を基本に～

南口駅前広場

緑と風格を備えたシンボル広場として、また安全で利用しやすい交通広場として整備します。この広場は、面積一万四千平方㍍で、北口広場の約一・五倍あり、来年の新幹線開業までに完成させます。

南北連絡通路

駅南北両地区の一体化を図る連絡通路は、東側（幅員十㍍）が昨年十二月に開通し、多くの市民に喜ばれています。西側は、五十九年完成を目指して、今年度から事業に着手します。

修景道路

修景道路は、周辺街区のまちづくりとあわせて整備します。南口駅前広場と一体性を持ち、都市景観の優れたシンボルとして、緑と憩いと楽しさのある公園的要素の強い人間優先の道路です。幅員六十㍍のうち車道は二十八㍍、残りの三十二㍍に歩道・自転車道・植樹帯などの環境施設帯が計画されています。現在、第一地区の事業として地下横断歩道を建設中です。

安産教室（3回で1コース）

日時 7月14日午前9時～9時20分受け付け（2、3回目は来所時に予約）
会場 西保健所
対象 分娩予定日56年11月～12月までの妊婦
内容 1回目…妊婦体操、映画ほか、2回目…お産の補助動作ほか、3回目…新生児のとりあつかいほか（3回目は夜間実施予定、原則として夫婦同伴）
持参品 母子手帳、筆記用具、ズボン
申し込み 電話で西保健所（☎66―5171）へ。先着20人

妊娠中の食事講習会

日時 7月6日午後1時半～3時半
会場 西保健所
内容 妊娠と貧血、妊娠中毒症（医師）、食事の工夫（栄養士）、妊婦一般相談 他
持参品 母子手帳、筆記用具
申し込み 西保健所（☎66―5171）へ、先着25人

健康づくりうす味料理普及講習会 ～どなたでも～

月日	時間	会場
6月29日	午前10時～正午	松浜新町集会所
6月30日		大平町集会所
7月1日		河渡新町 松浜合同宿舎集会所

内容 健康づくりのためのバランスのとれた食事の話、うす味でおいしい料理の調理実演、試食と質問
※講習費無料。テキストを進呈

1歳半児検診

対象 54年12月生まれ（北地区は11月生まれも含む）
受付時間 午後1時～2時
持参品 母子手帳

〈東保健所会場〉

月日	対象校区
7・9	山の下、桃山、東山の下、下山、酒屋、割野、大形
7・16	万代、南万代、長嶺、沼垂、曽野木、東曽野木、笹口
7・23	竹尾、木戸、牡丹山

※7月9日は手話奉仕員が派遣されていますので地区にかかわらずおいでください。

〈北地区保健センター会場〉

月日	対象校区
7・1	松浜、濁川、南浜、太夫浜、太郎代

〈石山地区保健センター会場〉

月日	対象校区
7・21	中野山、東中野山、南中野山、山潟、丸山、大渕、大形（岡山地区のみ）

〈鳥屋野地区保健センター会場〉

月日	対象校区
7・2	上所、上山、女池、鳥屋野

〈西保健所会場〉

月日	対象校区
7・10	小針、浜浦、白山、鏡渕、大畑、豊照、湊
7・24	青山、有明台、関屋、礎、新潟、入舟、栄、東青山

〈西地区保健センター会場〉

月日	対象校区
7・21	内野、木山、笠木、小瀬、赤塚、西内野

〈坂井輪地区保健センター会場〉

月日	対象校区
7・7	坂井輪、新通、五十嵐、真砂、坂井東

3歳児検診

対象 53年1月生まれ
受付時間 午後1時～2時
持参品 母子手帳

〈東保健所会場〉

月日	対象校市
7・14	山の下、桃山、東山の下、下山、酒屋、割野
7・28	万代、南万代、沼垂、長嶺、大形、曽野木、東曽野木
7・30	竹尾、木戸、牡丹山、笹口

〈石山地区保健センター会場〉

月日	対象校区
7・3	中野山、東中野山、南中野山、山潟、丸山、大渕、大形（岡山地区のみ）

〈鳥屋野地区保健センター会場〉

月日	対象校区
7・7	上所、上山、女池、鳥屋野

〈西保健所会場〉

月日	対象校区
7・9	小針、浜浦、白山、鏡渕、大畑、豊照、湊
7・16	青山、有明台、関屋、礎、新潟、入舟、栄、東青山

※7月16日は手話奉仕員が派遣されていますので校区にかかわらずおいでください。

〈西地区保健センター会場〉

月日	対象校区
7・2	内野、木山、笠木、小瀬、赤塚、西内野

〈坂井輪地区保健センター会場〉

月日	対象校区
7・3	坂井東、坂井輪、新通、五十嵐、真砂

(注)…3歳児検診で尿検査（たん白、せん血）を実施しています。受診の際、検診会場に尿を持参してください。なお、容器は東・西保健所、各地区保健センター、市民課窓口0番、各地区事務所、連絡所にありますので、お手数でもあらかじめとりにおいでください。

離乳食講習会

日時 7月1日午後1時～3時半
会場 東保健所
対象 生後4カ月に達した赤ちゃんをお持ちのお母さん
持参品 母子手帳

幼児のフッ素塗布

対象 1歳半～4歳未満児
持参品 母子手帳、タオル、料金500円

月日	会場	時間	定員	申し込み
7月13・20・27日	東保健所	午前9時～10時半	各35人	☎41―4111
7月1日	北地区保健センター			☎59―2721
7月6日	鳥屋野地区保健センター			☎85―2373
7月22日	石山地区保健センター			☎86―4450
7月2日	西地区保健センター	午前9時～10時半	30人	☎62―3405

※西地区以外の会場での2回目以降の方はフッ素番号をお知らせください。また西地区会場は2回目以降の方も次回予約月の前月にお申し込みください。